

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 112	提案機関名 酒匂川河口漁業対策協議会
要望問題名 酒匂川水系における砂泥の堆積等による魚類への影響調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 平成22年9月の台風9号以来、酒匂川水系は河床に砂泥が堆積し、河床石の埋没や餌となる付着珪藻類の減少によりアユをはじめとする魚類の生息環境が悪化している。 また、頻繁に発生する水の濁りはアユの産卵行動や産出卵の着床などアユの再生産に悪影響を及ぼすことが懸念されている。 そこで、現状の酒匂川の漁場環境がアユの再生産に及ぼす影響について調査を要望する。	
解決希望年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	農業技術センター 畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> 水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 継続検討 実施済 調査指導対応 現地対応 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合) 酒匂川アユ産卵場調査			
対応の内容等 平成23年度から酒匂川水系においてアユの産卵場調査を実施しております。本流の産卵場では砂泥の堆積が認められ、このために過去と比して産卵場の形成箇所が顕著に減少していました。再生産を確保することは翌年の資源にとって大切であることから、今後も砂泥の堆積と産卵の状況を継続調査し、アユ再生産環境の回復過程をモニタリングしたいと考えています。			
解決予定年限	1年以内 2～3年以内 4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 5～10年以内		
備考			